

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和7年
3月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から12月31日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は、令和7年1月末時点で当署に報告があったもので、**死亡者数は2人、休業4日以上**の負傷者数は**261人**となっています。業種別では、**小売業（50人）**が最も多く、次いで**製造業（41人）、社会福祉施設（38人）**と続きます。

事故の型別では、「転倒（90人）」が最も多く、次いで「墜落・転落（41人）」、「無理な動作・動作の反動（38人）」、「はさまれ・巻き込まれ（30人）」と続きます。

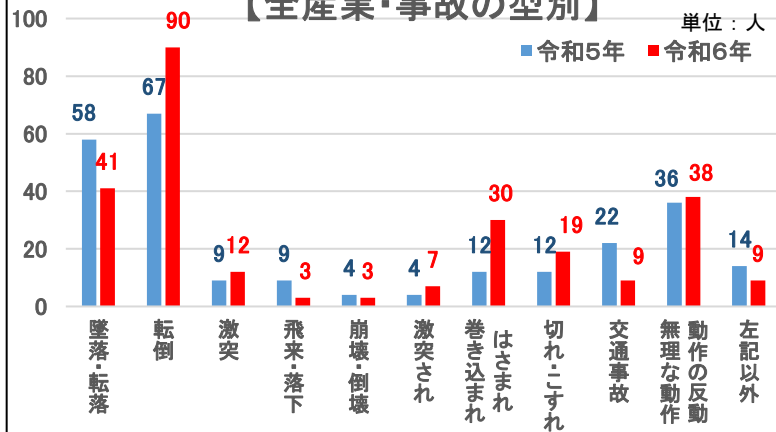
伊勢労働基準監督署では、FC ISE-SHIMA と連携し、選手実演の腰痛・転倒予防体操を公開しております。ぜひ、ご活用ください。↓↓↓



【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

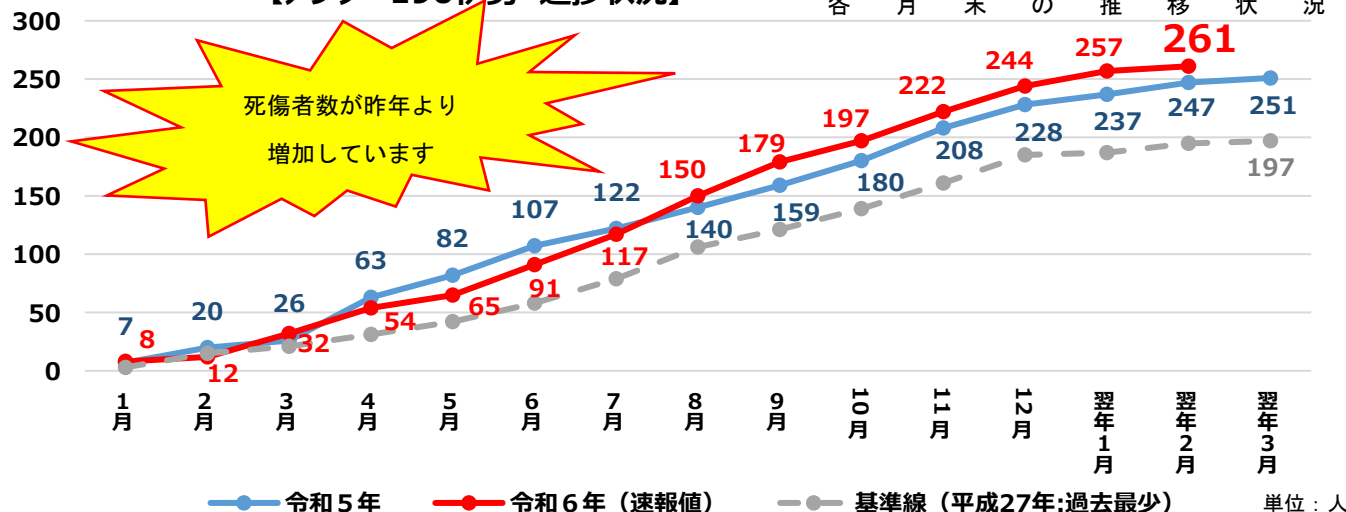
	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	1	247	2	261	+14	+5.7%
製造業		39		41	+2	+5.1%
建設業	1	36	1	27	-9	-25.0%
道路貨物運送業		9		14	+5	+55.6%
林業		7		6	-1	-14.3%
小売業		43		50	+7	+16.3%
社会福祉施設		25		38	+13	+52.0%
旅館業		25		18	-7	-28.0%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況

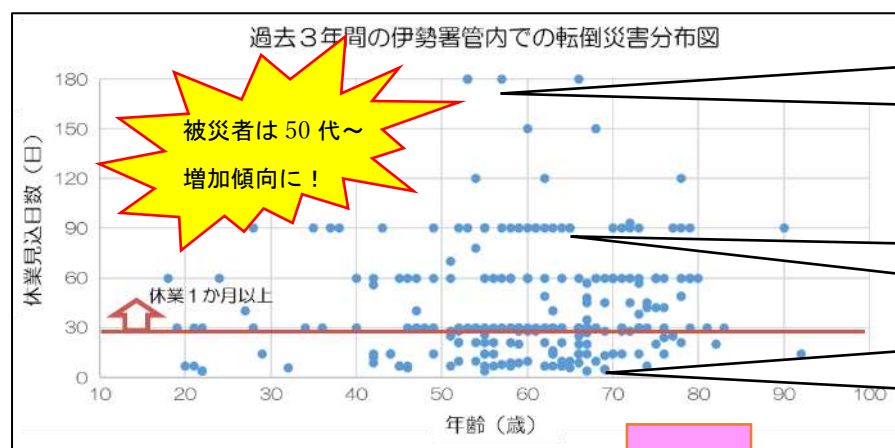


転倒災害を防止するために...

全体の3割強が転倒災害です!

伊勢署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）では、令和6年に発生した休業4日以上^{する}の労働災害 **261 件**のうち **90 件**が転倒災害でした。これは、**全体の約3.4割**を占める計算となり、事故の型としてはトップの災害となっています。

また、伊勢署管内で過去3年間に発生した休業4日以上^{する}の転倒災害は239件あり、うち**153件**が休業1か月以上、132件が被災者60歳以上の災害となりました。「たかが転倒」などと決して甘く見ず、転倒災害の発生防止対策を実施していきましょう。



清掃中、延長コードに足を引っ掛け転倒し、骨折
(休業6か月・50代後半)

通路の床が雨で濡れており、滑って転倒し、骨折
(休業3か月・60代半ば)

店舗の駐車場を歩行中、足がもつれて転倒し、打撲
(休業5日・60代後半)

転倒災害を防ぐには、**転倒災害を発生させる環境要因の解消（ハード対策）**と、**労働者の高齢化に伴う身体機能の低下への対策（ソフト対策）**の促進の双方の視点から対策を行いましょう。また、エイジフレンドリーガイドラインに基づいた対策も効果的です。

ハード対策

ソフト対策

例)



通路等の凹凸につまずいて転倒

→敷地内の凹凸、陥没穴等の確認・解消



水場（食品加工場等）で滑って転倒

→防滑床材・防滑グレーティング等の導入
滑りにくい履物の使用 など



放置された物につまずいて転倒

→整理、整頓の徹底

★中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられるサポートもあります



中小規模事業者
安全衛生サポート事業

セルフチェック票を用いた自身の**身体能力の可視化**
身体機能向上のための**運動プログラム**の導入 など



お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課

TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索

